



ビバリーヒルズ映画祭ジャパン開催決定！ 記者会見ご報告 来年3月開催へ



その歴史は若いながらも、新しい映画のショーケースの場、またグローバルに活躍する映画製作・配給会社とクリエイターとを結ぶ場として毎年定評を受けているビバリーヒルズ映画祭(BHFF)。来年 13 回目を迎える本映画祭と(株)ドリームキッドが提携し、新たに日本部門“ビバリーヒルズ映画祭ジャパン”(BHFF ジャパン)の開催が決定しました。BHFF ファウンダーでありフェスティバル・ディレクターのニノ・シモーネ氏、BHFF ジャパンのチェアマンを務めるフレデリコ・ラペンダ氏が来日。8月24日(金)、BHFF ジャパンプレジデント/CEO の大和田廣樹(株)ドリームキッド プロデューサー/代表取締役社長)と共に記者会見を行いました。

まず大和田より「アメリカの映画市場は日本と桁違い。とにかく日本のクリエイターたちをアメリカに送り込む機会を作りたい」とそのきっかけとなった想いや経緯を説明。続いて BHFF ジャパンのフローを紹介しました。2013年4月に行われるBHFFに先駆けて、2013年3月、日本にて「ビバリーヒルズ映画祭ジャパン」を東京にて開催。そこで各部門のグランプリに輝いた4作品がアメリカにて特集上映され、更にはファイナル・グランプリ1作品が外国映画部門へと出品されます。(※詳細は次ページ参照)「映画祭は数あれど、日本で優秀作品を選出し、それをアメリカで上映するだけでなく、その後の世界市場を視野に入れた売り込みや海外配給のサポートまでを目的としている」とBHFFの最大の特徴について語りました。

そして自身も、BHFFでのベスト・ピクチャー受賞をきっかけに、これまで20作品近いタイトルを手かっているハリウッド・プロデューサー、フレデリコ・ラペンダ氏は「若いクリエイターたちにとって、まず自分の作品を観てもらうことが難しいもの。でもBHFFは3大エージェントやたくさんのメジャー・スタジオのすぐ近くで開催されるユニークな映画祭で、そのチャンスが広がる場です。私のように若い監督やプロデューサーの人生を変えるものになるだろうし、それを全力でサポートしていきたい」と意気込みについて語り、BHFF フェスティバル・ディレクターのニノ・シモーネ氏は「非常に明確なビジョンを持ちリスクを厭わない大和田さんとの提携により、このような開催が実現しました。若い日本のフィルムメーカーたちには溢れる想像力をもってトライして欲しい」と期待のコメントを寄せました。

最後に演劇ユニット「Spontaneous♡(スポンタニアス)」より宮崎京さん、渡邊小百合さん、塚本茉莉子さん、そしてモデルのMiyuさん、MIZUKIさんが登場し花束贈呈。2003年度ミス・ユニバース日本代表であり世う界5位に輝いた宮崎京さんからは「私たちはこれまで美の分野で世界に挑んできましたが、こうして日本の映画が世界に羽ばたくきっかけとなる映画祭が開催されるのはとても喜ばしいことだと思います。楽しみながら競っていただければ」と応援メッセージが贈られました。

BHFF ジャパンは若い日本の才能、コンテンツを直接ハリウッドに売り込めるまたとない機会です。9月には日本公式サイトにて作品エントリーを開始致しますので、ぜひ今後ともご注目下さい。

《 記者会見概要 》

日時: 8月24日(金) 会場: copon norp(東京都渋谷区)

登壇者: BHFF Japan President/CEO 大和田 廣樹 Hiroki Owada (株)ドリームキッド プロデューサー/代表取締役社長)

BHFF Japan チェアマン **Frederico Lapenda** (ハリウッドで活躍するプロデューサー)

BHFF Founder/Festival Director **Nino Simone** (米 BHFF のファウンダー兼フェスティバル・ディレクター)

ゲスト： 演劇ユニット「Spontaneous♡(スポンタニアス)」(<http://ameblo.jp/supotani/>)より

宮崎京 Miyako Miyazaki 2003 年度ミス・ユニバース・ジャパン

渡邊小百合 Sayuri Watanabe 2008 年度ミス・ユニバース ファイナリスト

塚本茉莉子 Mariko Tsukamoto 2009 年度ミス・ユニバースファイナリスト

モデルの **Miyu** 今年 World Supermodel Pageant の世界大会にて TOP 50 に選抜。今後も選考に進み、世界を目指す。

モデルの **MIZUKI** 国内問わず海外でも活躍。世界各国の式典や祭典にも出演。社会活動にも積極的。

《 ビバリーヒルズ映画祭ジャパン概要 》

BHFF=BEVERLY HILLS FILM FESTIVAL

ビバリーヒルズ映画祭(BHFF)は、その歴史は若いながらも、新しい映画のショーケースの場、またグローバルに活躍する映画製作・配給会社のVIPたちとクリエイターとを結ぶ場として毎年定評を受けている国際映画祭です。

本映画祭は世界市場を視野に、これからの映画界を支えるクリエイターを発掘しサポートすることを目的としています。映画関係者や映画ヒットメーカーたちの参加も回を重ねる毎に増しており、新しい才能を発掘すべく、毎年2万人以上の人々がBHFFに集まります。

■ビバリーヒルズ映画祭ジャパン開催！

2013年、13回目を迎える本映画祭に、新たに日本部門の開設が決定しました。2013年4月に行われるBHFFに先駆けて、2013年3月、日本にて「ビバリーヒルズ映画祭ジャパン」(BEVERLY HILLS FILM FESTIVAL JAPAN/BHFF Japan)を開催。そこで各部門のグランプリに輝いた4作品がBHFFにて特集上映され、更にはファイナルグランプリ1作品が外国映画部門へと出品されます。日本のインディペンデント映画クリエイターたちにとって、これまでにない、世界と直結した映画祭と言っても過言ではないでしょう。

■部門について

4部門を設置 長編/アニメ長編/短編(アニメ含む)/ドキュメンタリー

各部門5作品、計20作品をノミネーション作品として選出。

各部門のノミネート作品5作品が3月上旬「ビバリーヒルズ映画祭ジャパン」にて上映されます。そこで各部門のグランプリ1作品を選出。さらにそのグランプリ4作品の中の最優秀作品=ファイナル・グランプリを1作品選出します。

各部門グランプリ 4作品 4月下旬に行われるBHFF直前イベントにて特集上映
ファイナル・グランプリ作品 BHFF 外国映画部門に正式に出品

■スケジュール(予定)

2012年9月 作品エントリー募集開始(BHFF ジャパン公式サイトにて発表)

2013年2月予定 ノミネート作品発表

2013年3月上旬 ★BHFF ジャパン開催(4日間)

第1日目:オープニング・セレモニー(場所は都内にて)

第2、3日目:上映会(ノミネート20作品上映)

第4日目:受賞者決定+エンディングパーティー

2013年4月下旬 ★BHFF直前1日イベント

BHFF ジャパン受賞4本の上映を行う

★BHFF開催

BHFF ジャパンファイナル・グランプリ作品は「外国映画部門」に正式出品

■ご案内

・BHFF 公式サイト(US) : <http://www.beverlyhillsfilmfestival.com/>

・BHFF Japan 公式サイト(日本) : <http://www.beverlyhillsfilmfestival.jp/>

※近日本格OPEN、作品エントリー募集などこちらの公式サイトにて発表させていただきます。

《本件に関するお問い合わせ》

BHFF Japan 運営事務局【㈱ドリームキッド内】 press@dreamkid.co.jp